

1年次から自分の働く姿をイメージする ～実践的・体験的な学習の一場面より～

【東京都立六郷工科高等学校 デュアルシステム科】

働くことのイメージを早期から持たせながら、生徒の職業観・勤労観を育む

1年次の取組(学校設定科目:「働くこと生きること」「インターンシップ」)



一事前準備として一
・ 社会人のマナーを学習
・ 履歴書・協定書作成



引率型企業見学(1社:5月)
地元企業の業務内容を理解する



企業についての調べ学習と
生徒個人による企業見学
(1人につき5社:6~9月)



インターンシップ5日間×2社
(実施前には、その企業で体験
を志望した理由や生徒自身の目
標について発表会を開催:11月)



成果報告会(2月)
お世話になった企業の紹介
と体験内容を発表し、企業
の方から直接質疑とアドバイ
スをいただく

数多くの企業での体験を通じ、自己の職業に関する適性と将来についてイメージするとともに、学校における学びの意義を実感する

生徒の気づき

企業見学時の生徒コメント(もしくは1社目IS体験後)

- ・ 中学校の時の職場体験でプラスチック加工に興味を持った。企業見学でプラスチック加工にも様々な作業や材質があることを知る事ができた。
- ・ 現場での作業を体験し、入社してからの休み時間が少なかったり、車での移動も多く、お昼ご飯も車の中で食べたり、働いて大変だなと実感した。



インターンシップ2社体験後の生徒コメント

- ・ プラスチック加工の企業を2社体験し、プラスチックにもいろいろな種類があり、加工方法も様々なことを知り、プラスチックの奥深さを体感した。さらに知識を深めたいと思った。
- ・ たくさん作業の指示を受けたが、指示をしっかりと理解せずに作業をしてしまい、製品を落としてしまった。指示されたことをしっかりとメモをすることの重要性を実感した。

【プログラムを実施する上の配慮事項】

- ・ 生徒の興味関心と企業の業態が一致しているか
- ・ 企業実習で失礼のないような立ち居振る舞いを身に着けているか
- ・ 企業担当教員の巡回による情報共有

【こんなエピソードもありました】

- ・ 1年次には「溶接」の授業がないが、インターンシップの中で溶接作業を体験し、その仕上がりがとてもきれいであると教えていただき、本人の適性に気が付くことができた。
- ・ 普段の学校生活では、こだわりがあり提出物等への取り組みが甘い生徒であったが、やる事が手順化されている組立の作業においては、集中して取り組み、また正確に取り組むことができることがわかり、本人の適性への理解が深まった。

1年次での学びはつながっていく



2年次発表会



3年次発表会

全学年参加により下級生が先輩から学ぶ機会としている